漁　況

平成 24 年 4～6 月の伊豆半島東岸定置網漁況

（１）月別漁獲量

伊豆半島東岸大型定置網７ヶ統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における平成 24 年 4～6 月の月別漁獲量を第 1 表に示しました。漁期をとおして前年、平年（昭和 57～平成 23 年）を概ね上回る漁獲量がありました。中でも 2 月には前年、平年の 2 倍以上の漁獲量があり、1～3 月の総漁獲量は前年、平年の 1.6 倍以上となりました。

第1表　平成24 年4～6月の月別漁獲量

月	漁獲量(t)	前年比	平年比
4月	537	1.7	1.3
5月	1,129	3.1	2.4
6月	720	1.0	1.7
合計	2,386	1.3	1.8

（２）魚種別漁獲量

伊豆半島東岸大型定置網７ヶ統における月別の主要魚種の漁獲量と主な漁場を第２表に示しました。

漁期をとおしてブリ（ブリ銘柄：体重 6ｋｇ以上,ワラサ銘柄：体重 2～6ｋｇ,イナダ銘柄：体重 0.5～2ｋｇ）、サバ類、マルソウダなどが多く漁獲されました。

ブリのうちブリ銘柄では 181 トンと前年の 2 倍、平年の 10 倍の漁獲が、ワラサ銘柄では 38 トンと前年の 2.6 倍、平年の 1 倍の漁獲が、イナダ銘柄では 122 トンと前年の 645 倍、平年の 20 倍の漁獲が漁期中にみられました。

また、サバ類では尾叉長で 22～38 ㎝のゴマサバ主体に 4～5 月にかけて前年、平年の概ね 2 倍以上の漁獲が、マルソウダでは 5～6 月にかけて前年、平年を大きく上回る漁獲があり、それらが、本漁期の漁獲を支えておりました。

しかし、例年では漁獲の主体となるマアジやスルメイカが依然として少なく、それらの漁獲動向が今後、注視されます。

（平井一行）

第2表　各月の上位5魚種の漁獲量と主な漁場（平成24年）

月	順位	魚種名	漁獲量(t)	前年比	平年比	主な漁場
4月	1	ブリ（ブリ銘柄）	129.7	1.3	8.0	伊豆山、川奈
	2	サバ類	104.6	3.4	2.4	川奈、富戸
	3	カタクチイワシ	104.4	1.9	2.3	古網、伊豆山
	4	マイワシ	89.3	198.8	2.1	古網、富戸
	5	マアジ	36.6	1.1	0.3	伊豆山、川奈
5月	1	マルソウダ	643.1	8.9	19.6	北川、川奈
	2	サバ類	213.7	2.1	1.8	川奈、北川
	3	カタクチイワシ	90.4	1.1	2.3	古網、富戸
	4	ヒラマサ	52.9	55.8	―	古網、伊豆山
	5	ブリ（ブリ銘柄）	46.6	98.3	43.4	伊豆山、古網
6月	1	マルソウダ	425.0	4.7	13.3	古網、北川
	2	ブリ（イナダ銘柄）	120.2	267.0	39.8	伊豆山、古網
	3	サバ類	58.3	0.2	0.5	古網、伊豆山
	4	マアジ	21.7	0.4	0.2	川奈、北川
	5	ブリ（ワラサ銘柄）	19.1	9.5	2.1	川奈、伊豆山